

令和5年度「京丹後市韓哲・まちづくり夢基金」
運用益等活用事業（案）について

資料3

資料	事業名	分野	担当部署	基金充当予定額	継続・新規
3-1	グローバル人材育成事業	教育	教育委員会 学校教育課	14,751千円	継続 ※2年目
3-2	韓哲・まちづくり夢基金事業補助金	その他	市長公室 政策企画課	10,000千円	継続 ※7年目
3-3	高等学校全国募集入学生応援事業	教育ほか	教育委員会 教育総務課	2,520千円	継続 ※3年目
3-4	京丹後市文化芸術振興計画及び文化庁移転に伴う文化芸術推進事業	文化・芸術	教育委員会 生涯学習課	4,856千円	新規
合計				32,127千円	

※詳細別紙

「京丹後市韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業

資料3-1

事業分野	教育	事業分類	拡充・拡大
------	----	------	-------

事業名	グローバル人材育成事業
-----	-------------

事業内容（できる限り具体的に記載してください。）

国際感覚を持ち、将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、市内の小中学校に在籍する児童生徒を中心に、それぞれの段階に応じた事業を実施し、諸外国への興味関心を深め、文化や伝統を理解する機会を創出する。また、外国語教育の充実を図るとともに、新たな可能性を創造する「STEAM教育」の推進を図る。

事業名	対象	内容
1 Kyotango English Days	小3・4	CR・ALTとの英語による国際交流会。年2回を想定。各回定員30人。
2 Kyotango English Camp	小5・6	CR・ALTによる国際交流会。1泊2日で開催。定員20人。
3 オンライン留学	中1	外国とのオンライン交流を開催。事前研修を含む5回で構成。定員15人。
4 中学生海外派遣	中2	海外に派遣し、一般家庭での生活体験や現地の学校に通い、学校生活を体験。定員15人。
5 英語発音矯正アプリ	中2・3	発音矯正アプリを活用した英語学習を実施。発音矯正だけでなく、英語で自分の思いや考えを自信をもって伝え合うことができる生徒の育成を目指す。対象として中学3年生を新たに追加。（対象：R4 京丹後市立中学2年生⇒R5・6 京丹後市立中学2・3年生対象。）
6 STEAM教育推進	中3・高2	デザイン思考を用いたSTEAM教育（Science, Technology, Engineering, Arts and Mathematics）プログラムの開発および運営。定員は、中学3年24人・高校2年12人（合計36人）。

事業スケジュール（実施時期等がわかるよう記載してください。）

別紙参照

歳出予算（単位：千円）

見積額	14,851千円	基金充当額	14,751千円
（見積額の主な内訳）		使用料及び賃借料	5,181千円
報償費	284千円	負担金、補助及び交付金	3,254千円
旅費	1,250千円		
需用費	187千円		
役務費	211千円		
委託料	4,484千円		

その他添付資料の有無	有	担当部署	教育委員会事務局学校教育課
------------	---	------	---------------

グローバル人材育成事業 事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Kyotango English Days		参加児童募集 事業実施	事業実施			参加児童募集 事業実施						
Kyotango English Camp		参加児童募集 事業実施										
オンライン留学						現地校とスケジュール等調整	現地校とスケジュール等調整	募集・参加生徒決定	事前研修 オンライン交流			
中学生海外派遣		現地校とスケジュール等調整			派遣生徒募集	選考面接	派遣生徒決定・精回式		月1回程度事前研修			現地研修
英語力向上 アプリ	アカウントを配布し、学校及び家庭で使用											
丹後学×STEAM教育の推進	プログラムの調整、生徒募集、広報 ワークシヨップ プログラムの効果測定・評価、分析、フィードバック、プログラムの再構築等											

グローバル人材育成事業 歳出予算

	報償費	旅費	需用費	役務費	委託料	使用料及び賃借料	補助金	合計
Kyotango English Days			10千円					10千円
Kyotango English Camp	44千円		20千円	7千円		311千円		382千円
オンライン留学				79千円				79千円
中学生海外派遣	27千円	1,047千円	95千円	9千円	134千円	60千円	3,254千円	4,626千円
英語力向上 アプリ						4,250千円		4,250千円
STEAM教育推進	213千円	203千円	62千円	116千円	4,350千円	560千円		5504千円
合計	284千円	1,250千円	187千円	211千円	4,484千円	5,181千円	3,254千円	14,851千円

「京丹後市韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業

資料3-2

事業分野	その他まちづくり	事業分類	継続
事業名	韓哲・まちづくり夢基金事業補助金		
事業内容（できる限り具体的に記載してください。）			
<p>市民等の夢の実現を後押しするための企画公募型補助金。 本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりにつながる人材育成、顕彰等に係る事業を実施する市内に住所を有する個人又は市内に主たる事務所等を有する団体等に対して、京丹後市韓哲・まちづくり夢基金の運用益等を活用して交付する。</p> <p>【補助対象者】 京丹後市内に住所又は主たる事務所若しくは事業所を有する、個人（未成年の場合は保護者）、団体、法人等</p> <p>【募集する事業】 応募は1個人又は1団体等につき1提案。事業内容は、「京丹後市韓哲・まちづくり夢基金条例」に規定する、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりにつながる人材育成、顕彰等に係る事業であること。 本市の他の補助制度の対象となる事業（京丹後市スポーツ・文化活動等大会出場激励金等）については補助対象外とする。</p> <p>【補助金額、補助率等】 補助率2／3以内（上限100万円） ※ただし、教育、文化、芸術又はスポーツの振興に関する分野かつ営利を目的としない事業は、補助率10／10以内。</p> <p>【審査】 「京丹後市韓哲・まちづくり夢基金運用委員会」において審査を行う（提出書類及び応募者によるプレゼンテーションに基づく審査）。</p> <p>【決定】 上記審査結果をもとに、市長が補助金交付の内定（又は不内定）を決定。予算額を超える申請があったときは、「子どもが自主的又は主体的に関わる事業を優先する。それ以外は委員会で審査された点数順とする。その後、内定者は補助金交付申請書を提出する。</p>			
事業スケジュール（実施時期等がわかるよう記載してください。）			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月上旬～5月上旬：公募 ・ 5月下旬：委員会審査、内定決定 ・ 6月中旬：交付申請書提出 ・ 6月下旬：交付決定 ・ 6月下旬～：事業実施 			
歳出予算（単位：千円）			
	見積額	10,000千円	基金充当額
			10,000千円
	（見積額の主な内訳）		
	負担金、補助及び交付金	1,000千円	
その他添付資料の有無	無		担当部署
			市長公室 政策企画課

「京丹後市韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業

資料3-3

事業分野	教育	事業分類	拡充・拡大
事業名	高等学校全国募集入学生応援事業		
事業内容（できる限り具体的に記載してください。）			
<p>【趣旨】</p> <p>令和3年4月から京都府立丹後緑風高等学校（網野学舎）で全国部活動特別入学選抜が実施されました。このため、京都府外の遠方から入学する生徒の下宿費に係る経済的負担を軽減するため、当該経費の一部を支援することで生徒の就学支援をはじめ、地域で培われたスポーツ風土を生かした部活動を応援することで人材の育成及び市内の高等学校の存続発展と地域の活性化に資することを目的とする。</p> <p>【支援内容】</p> <p>下宿費等の借料の2分の1以内の額（千円未満の端数は切り捨てし、月額2万円上限）を、正規の修業年限（3年間）について支援する。</p> <p>【対象者の要件】</p> <p>(1) 京都府外の都道府県からの入学生徒の保護者に支援する。 (2) 入学後、生徒は京丹後市の住民基本台帳に登録され現に居住し、就学すること (3) 入学後、生徒は指定された部活動（レスリング部）に加入すること (4) 令和5年度の募集人員は、6人以内とする。</p> <p>【全国部活動特別入学選抜入学生の状況】</p> <p>令和3年度入学生 1人 令和4年度入学生 5人</p>			
事業スケジュール（実施時期等がわかるよう記載してください。）			
令和4年9月	令和5年度京都府立高等学校第1学年生徒募集定員等、京都府立公立高等学校入学選抜要項周知、公表開始		
令和5年2月	入学者選抜試験		
4月	入学後、交付申請書提出、第2学年及び第3学年交付申請書提出（R3、R4年度交付決定者） 年3回補助金交付（8月、12月、4月）		
歳出予算（単位：千円）			
見積額	2,520千円	基金充当額	2,520千円
（見積額の主な内訳）			
負担金、補助及び交付金	180千円	(R3年度交付決定者)	
負担金、補助及び交付金	900千円	(R4年度交付決定者)	
負担金、補助及び交付金	1,440千円	(R5年度交付決定者)	
その他添付資料の有無	有	担当部署	教育委員会事務局教育総務課

令和5年度

**京都府立高等学校第1学年生徒募集定員等
京都府公立高等学校入学者選抜要項**

令和4年9月

京都府教育委員会

り、対応を別に定める場合がある。

(4) 合格者は、この要項に基づく他の選抜に改めて志願することができない。

なお、他の選抜の願書受付日時点で合格が明らかでない場合はこの限りではない。ただし、合格が明らかとなった場合は、この要項に基づく他の選抜を受検又は改めて志願することができない。

(9) 学力検査（追検査を含む。）得点の開示

11（30ページ）によること。

(8) 全国部活動特別入学者選抜

ア 出願資格

1（1ページ）に該当する者であって、かつ、次の(7)及び(8)に該当するもの

(7) 保護者の住所が京都府の区域外にあること。

(8) 入学後、別表6（42ページ）に定めるいずれかの部活動へ加入すること。

イ 実施高等学校及び募集人員

実施高等学校	課程	学科	募集人員
京都府立北桑田高等学校	全日制	普通科	2人以内
		京都フォレスト科	4人以内
京都府立須知高等学校	全日制	普通科	4人以内
		食品科学科	2人以内
京都府立丹後緑風高等学校 (網野学舎)	単位制による 全日制	普通科	3人以内
		企画経営科	3人以内

ウ 出願の要領

(7) 出願は、1高等学校の1学科に限る。

なお、当該選抜を志願する者は、当該選抜以外の特別入学者選抜及び前期選抜を志願することはできない。

(8) 願書受付日

令和5年2月2日（木）午後1時から午後4時まで

2月3日（金）午前9時から午後4時まで

なお、高等学校に持参により願書を提出する場合は、事前（原則として前日まで）に高等学校まで電話により志願者氏名、志望課程・学科その他必要な事項を連絡すること。

やむを得ない理由により郵送によって出願する場合（4(3)ア（3ページ）によること。）は、令和5年1月24日（火）から1月27日（金）までの消印のあるものに限り有効とする。

(9) 提出書類

書類名	提出部数	作成者	ページ
全国部活動特別入学願書（様式特別-Aの1）	1通	志願者	65
学力検査受検願（様式特別-Aの2）、写真票（様式特別-Aの3）	1通	志願者	66
特別入学者選抜入学願書の提出について（様式特別-B）	1通	中学校長	67
報告書（様式Cの1）又は（様式Cの2）	1通	中学校長	46、47
活動実績報告書【運動実績の記録】（様式前活-2）	1通	中学校長	64
部活動加入意志確認書（様式特別-D）	1通	志願者	70
その他高等学校長が定める書類	※	※	-

備考 4(2)ウ（2ページ）に規定する申請手続きを行い、認定書の交付を受けた者は、それを入学願書に添付すること。

※ その他高等学校長が定める書類については、別に定める。

※ 特別入学者選抜入学願書の提出について（様式特別-B）

a 記載内容を確認の上、作成すること。

b 願書提出先の高等学校校名を必ず記入すること。

別表6

令和5年度全国部活動特別入学者選抜において入学後加入を要する部活動名

高等学校名（学舎名）	課程名	学科名	部活動名
京都府立北桑田高等学校	全日制	普通科、京都フォレスト科	自転車競技部、 ワンダーフォーゲル部
京都府立須知高等学校	全日制	普通科、食品科学科	ホッケー部
京都府立丹後緑風高等学校 （網野学舎）	単位制による 全日制	普通科、企画経営科	レスリング部

「京丹後市韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業

資料3-4

事業分野	文化・芸術	事業分類	新規
事業名	京丹後市文化芸術振興計画及び文化庁移転に伴う文化芸術推進事業		
<p>事業内容（できる限り具体的に記載してください。）</p> <p>【趣旨】 本市文化芸術振興条例に基づき策定し、令和5年4月から施行する「京丹後市文化芸術振興計画」では、『文化芸術を楽しみ 人が輝く京丹後～はぐくむ、つなぐ、いかす”日本のふるさと丹後”の文化を次世代へ～』を理念とし、本市の豊かな文化的資源を継承・活用して、市民みんなが文化芸術に親しみ、愛着や誇りを感じられる文化芸術のまちづくりを進めます。 この理念を実現するために定めた6つの基本方針に沿って、文化芸術活動機会の確保や文化的資源の継承、文化芸術関連団体の振興や人材育成、情報発信などの事業に取り組み、まち全体で文化芸術を楽しむ気運の醸成につなげます。</p> <p>【実施内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「文化芸術実践会議」の設置 文化芸術振興計画に基づいた具体的な施策や事業を企画・提案する「文化芸術実践会議」を設置する。会議メンバーは文化芸術に関連する団体やアーティスト、学生、専門家等で構成する。 2 「京丹後市展」の開催 市民が気軽に作品を発表できる「京丹後市展」を開催し、文化芸術振興計画に掲げる「誰もが気軽に演奏や発表ができる場を創出する」を実現する。 3 落語会・落語ワークショップの開催 計画策定を契機とし、令和4年度に文化のまちづくり実行委員会が韓哲基金の補助を得て開催した落語会と落語ワークショップを、5年度は市教委と共催し他の中学校に範囲を拡大して実施する。 			
<p>事業スケジュール（実施時期等がわかるよう記載してください。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「文化芸術実践会議」の設置 （～3月まで 文化のまちづくり実行委員会を核として設置準備） 4月～ 毎月1回開催予定（年12回開催） 2 「京丹後市展」の開催 4月～ 出展募集 5月～ 配置計画 6月 開催予定 3 落語会・落語ワークショップの開催 4月 ワークショップ対象中学校選定（2校） 8月～ 落語会広報開始 11月 落語会開催、ワークショップ開催 			

歳出予算

1 「文化芸術実践会議」の設置

見積額	856千円	基金充当額	856千円
(見積額の主な内訳)			
報償費(委員謝金)	540千円	報償費	540千円
委託料(専門職大学、バス運転手)	316千円	委託料	316千円

2 「京丹後市展」の開催

見積額	2,000千円	基金充当額	2,000千円
(見積額の主な内訳)			
需用費	460千円	需用費	460千円
報償費	428千円	報償費	428千円
使用料及び賃借料	1,112千円	使用料及び賃借料	1,112千円

3 落語会・落語ワークショップの開催

見積額	2,000千円	基金充当額	2,000千円
(見積額の主な内訳)			
需用費	630千円		
委託料 (米朝事務所)	2,000千円	委託料	2,000千円

その他添付資料の有無	有	担当部署	教育委員会事務局生涯学習課
------------	---	------	---------------

文化芸術振興計画策定に伴う文化芸術推進事業



教育委員会事務局
生涯学習課

R4年度要求額: 4,866千円(前年度予算額: 0千円)

文化芸術振興計画の策定と文化庁京都府移転を契機に、文化芸術事業を計画的に推進する。

1. 背景

- ・平成31年3月文化の薫り高いまちづくりを進めるため「京丹後市文化芸術振興条例」を制定
- ・令和4年12月本市の今後10年間の文化芸術に関する施策を総合的に推進するため「京丹後市文化芸術振興計画」を策定

2. 目的

- ・文化芸術振興計画に基づき、具体的な施策や事業を企画・提案し、文化のまちづくりを推進するため、文化芸術実践会議（仮称）を設置する。
- ・文化芸術振興計画に掲げる「誰もが気軽に通覧や発表ができる場を創出する」を実現するため、市民が気軽に作品を発表できる「京丹後市展（仮称）」を開催する。
- ・文化芸術振興計画に基づき、文化芸術コンテンツを鑑賞・体験する機会を提供するため、文化芸術イベントを開催する。

3. 事業内容

■ 京丹後市文化芸術実践会議（仮称）の開催

- 文化芸術実践会議運営事業 866万円
文化芸術関連団体・個人で構成する文化芸術実践会議を設置し、計画に沿って具体的な事業展開について検討する。
- ・委員謝金 540千円 (3千円×15人×12回)
- ・実践会議用事務用品 10千円 ・観覧/又運転委託料 16千円 (1回)
- ・コーデイネーター委託料 300千円 (12.5千円×(会議12回+事前打合せ12回))
※委託先: 芸術文化観光専門大学 (予定)

■ 京丹後市展（仮称）の実施

- 京丹後市展開催委託料 2,000千円 ※委託先: 京丹後市文化協会 (予定)
市民が出席・参加可能な京丹後市展を開催し、市民がれもが文化芸術活動を発表する場の創出と、市民が市内の文化芸術活動を楽しむ場を提供する。

■ 文化芸術振興計画策定及び文化庁移転記念文化芸術イベントの実施

- 「酒語会・落語ワークショップ」企画運営委託料 2,000千円
文化芸術振興計画策定及び文化庁移転を契機に、質の高い文化芸術を鑑賞・体験するイベントとして「酒語会・落語ワークショップ」を開催する。 ※委託先: 京丹後市文化のまちづくり実行委員会 (予定)

4. 想定される効果

- ・文化芸術実践会議で計画及び市民の意見を取り入れ、事業を計画的かつ効果的に実施することができる。
- ・誰もが気軽に参加できる「京丹後市展」の開催により、市民文化芸術活動を支援する。
- ・質の高い文化芸術を鑑賞・体験することにより、市民の文化芸術への関心を高めることができる。

5. 事業イメージ

文化芸術振興計画推進に向けて

計画の推進に向けて、「文化芸術実践会議（仮称）」を組織し、計画の具体的な事業実施に向け取り組みます。

文化芸術振興計画

